

【別紙 1：法人の基本情報】

法人コード	A019277
法人名	一般社団法人徳島県法人会連合会

基本情報

フリガナ	イッパンシヤダンホウジントクシマケンホウジンカイレンゴウカイ			
法人の名称	一般社団法人徳島県法人会連合会			
住所及び連絡先 主たる事務所の	住所	〒770-0841 徳島県徳島市八百屋町三丁目 26 番地		
	代表電話番号	088-625-5534 (内線) FAX 番号 088-623-9497		
	代表メールアドレス	e-mail@tokushimakenhouren.com,mori@tokushimakenhouren.com		
	ホームページアドレス	http://hojinkai.zenkokuhojinkai.or.jp/tokushimaken		
代表者の氏名	古川 武弘			
事業年度	04 月 01 日～03 月 31 日			
担当者	氏名 (又は名称)	山田 仁	役職 (又は担当者名)	専務理事
	電話番号	088-625-5534	FAX 番号	088-623-9497
	電子メールアドレス	shino@tokushimakenhouren.com		
事業の概要	全国組織の公益財団法人全国法人会総連合及び県下 6 法人会と連携し、税知識の普及、納税意識の高揚に繋がる活動や税制・税務に関する提言を行うと共に、地域企業と地域社会の健全な発展を目的に事業を行っています。			

【別紙 2：公益目的支出計画実施報告書】

26 年度 (2014/4/1 から 2015/3/31 まで) の概要

1. 公益目的財産額	25,556,188
2. 当該事業年度の公益目的収支差額 ((1) + (2) - (3))	2,267,725
(1) 前事業年度末日の公益目的収支差額	1,129,949
(2) 当該事業年度の公益目的支出の額	3,637,776
(3) 当該事業年度の実施事業収入の額	2,500,000
3. 当該事業年度末日の公益目的財産残額	23,288,463
4. 2 の欄に記載した額が計画に記載した見込み額と異なる場合、その概要及び理由	
計画作成時点の見込みに比べ、継 1 における公益目的収入の額が見込み額を下回るとともに公益支出の額も見込み額を下回り、当該事業年度末日の公益目的収支差額が計画における見込み額を下回ったが、計画額との差額は 5, 5 8 5 円であり、今後の実施事業の規模を鑑みても実施期間に関しては影響がないと考える。	

公益目的支出計画の状況

公益目的支出計画の 完了予定事業年度の末日	(1) 計画上の完了見込み	平成 48 年 3 月 31 日
	(2) (1) より早まる見込みの場合	

	前事業年度		当該事業年度		翌事業年度
	計画	実績	計画	実績	計画
公益目的財産額	25,556,188	25,556,188	25,556,188	25,556,188	25,556,188
公益目的収支差額	1,136,655	1,129,949	2,273,310	2,267,725	3,409,965
公益目的支出の額	3,826,855	3,629,949	3,826,855	3,637,776	3,826,855
実施事業収入の額	2,690,200	2,500,000	2,690,200	2,500,000	2,690,200
公益目的財産残額	24,419,533	24,426,239	23,282,878	23,288,463	22,146,223

※前事業年度及び当該事業年度の計画及び実績の額、翌事業年度の計画の額を記載します。

実施事業（継続事業）の状況等 1

事業番号	事業の内容
継 1	法人会が行う税を巡る活動並びに地域企業や社会に資する諸活動及びその支援事業

(1) 計画記載事項

事業の概要	
<p>(1) 法人会の事業活動の基本である税知識の普及、納税意識の高揚、税の提言はもとより、地域の企業や社会への貢献を目的とする活動及びその支援に注力し、また公益財団法人全国法人会総連合（全法連）よりの各法人会事務委託等の助成事業も行っている。こうした事業をはじめとして、県下6法人会の円滑な運営と発展に努めている。それらのうち主な事業は次のとおりである。1. 小学生の「税に関する作文」「絵はがきコンクール」実施の情宣と後援、2. 租税教育及びその支援活動（小学校の出前授業ほか）、3. 税制に関する法人研修会（講師高松国税局担当官ほか）・公益事業推進研修会・各種研修会の充実支援等、4. 税制改正に関する提言活動・税制税務委員会での集約・全法連全国大会での情報収集及び発信等、5. 税を考える週間等の法人会広報活動、6. 文化事業団体や義援金の寄附活動、7. 講演会・研修会等の開催及び各種後援活動、8. 地域団体・諸活動との連携、9. 全法連いちごプロジェクト（家庭使用電力の15%削減運動）の情宣と推進、10. 全法連の助成金運営事務委託事業（事務担当者給与、傘下単位の助成金及び会計研修会の実施経費等）</p> <p>(2) 専任職員1名と役員1名が必要程度携わり、公益社団法人徳島法人会と同事務室の一面において相互に連携しつつ従事している。(3) 事業実施のための財源は、全法連事務委託費が主なものであるが、これは全法連より適正な助成金運営等のために交付されている。</p>	
(1) 当該事業に係る公益目的支出の見込額	3,826,855 円
(2) 当該事業に係る実施事業収入の見込額	2,690,200 円

(2) 当該事業年度の実施状況

事業の実施状況について
<p>(1)</p> <p>1. 小学生の「税に関する作文」「絵はがきコンクール」実施の情宣と後援 全国法人会総連合と連携しての情宣、参加賞等の購入手配（B5ノート180冊、クオカード60枚、図書カード）、発送など。 「税に関する作文」徳島県下応募校124校、応募数1,654件 「絵はがきコンクール」徳島県下応募校77校、応募数1,260件</p> <p>2. 租税教育及びその支援活動（小学校の出前授業ほか） 徳島県租税教育推進協議会と連携し、徳島県下小学校の出前授業開催を支援。 「暮らしを支える税」のメッセージ入りメモ帳を県下小学生5,000名に配布。</p> <p>3. 税制に関する法人研修会（講師高松国税局担当官ほか）・公益事業推進研修会・各種研修会の充実支援等 ・3/17（火）参加者22名「徳島県下 調査課所管法人税務研修会」</p> <p>4. 税制改正に関する提言活動・税制税務委員会での集約・全法連全国大会での情報収集及び発信等 ・6/11（水）参加者12名「税制・税務委員会」 ・「平成27年度税制改正に関する要望事項」作成 ・「平成27年度税制改正に関する提言」を県国會議員5名、地方自治体14件へ持参又は郵送。 ・10/16（木）参加者53名「法人会全国大会（栃木大会）」</p> <p>5. 税を考える週間等の法人会広報活動 ・11/11（火）徳島新聞朝刊で、法人会メッセージを掲載。 『法人会は、「健全な経営、正しい納税、社会に貢献」を柱として活動する経営者の団体です』等</p>

- ・11/11（火）～11/17（月）FM徳島で、法人会メッセージを発信。20秒×15回
『税に強くなる法人会とタッグを組み合わせませんか』『税の知識を活かし、一歩先の経営を』等

6. 文化事業団体や義援金の寄附活動 実施なし

7. 講演会・研修会等の開催及び各種後援活動

研修講演会開催

- ・5/13（火）研修講演会 参加者 71名
家庭教育セミナー 意外と簡単 家庭ではぐくめる子どもの「学力×道徳心」
講師：家庭教育プロデューサー、元・学研ネクスト家庭教育総合企画室長 酒井 勇介 氏
- ・5/16（金）研修講演会 参加者 85名
経営者セミナー お金が残る会社と残らない会社の違い
講師：(株) エフアンドエム 事業部長 山本 龍太 氏
- ・6/23（月）研修講演会 参加者 70名
防災出前講座 南海トラフを震源とする巨大地震に備えて
講師：徳島県 危機管理部 防災人材育成センター 活動推進員 山根克一 氏

単位会開催講演会の共催

- 徳島法人会主催セミナー 4/15（火）阿波観光ホテル
報・連・相研修 ～円滑なコミュニケーションがチームの成果につながる～
講師：アビリティセンター (株) 研修インストラクター 小濱裕子 氏

単位会開催講演会の後援

- ・5/21（水）阿波観光ホテル
「介護が必要になった時の対処方～介護の実態を探る～」
国際医療福祉大学 医療福祉学部 特任教授 前川 美智子 氏
- ・5/22（木）阿波観光ホテル
「経営者のための 怪しい取引先の見抜き方～取り調べ体験から得た信頼関係の築き方～」
(株) Clearwoods 代表取締役 森 透匡 氏
- ・6/5（木）阿波観光ホテル
「スマートフォン・タブレットのわかりやすい【超】入門講座」
(株)オリファイ 代表取締役 山田 進一 氏
- ・6/6（金）阿波観光ホテル
「戦国武将たちから学ぶ“事業承継”成功の秘密～戦国時代と現代から学ぶ事業承継の秘訣などを紐解きます～」
(株)パスエイド 代表取締役 佐藤 敏彦 氏
- ・8/20（水）阿波観光ホテル
「銀座のママに学ぶ 人間力・女子力・ビジネス力」
銀座「クラブ稲葉」ママ 白坂 亜紀 氏
- ・10/6（月）阿波観光ホテル
「日本旅行の平田進也がやってくる！！“浪速のカリスマ添乗員”が語る『ほんまもののサービスはこれや！』」
(株)日本旅行 西日本営業本部営業推進事業部 担当部長 平田 進也 氏
- ・10/9（木）阿波観光ホテル
「中小企業のためのリスクマネジメントセミナー～緊急時における中小企業のリスクマネジメント～」
A I U損害保険(株)リスクコンサルティング部 部長 高橋 勝 氏
- ・10/17（金）徳島県教育会館
日米親善音楽交流コンサート～音楽は国境のない言葉である～
米軍空軍太平洋音楽隊ーアジア パシフィック・ショーケース
- ・12/11（木）阿波観光ホテル

「経営者のためのイメージアップ戦略 隠された自分の魅力を引きださせるテクニック講座」

イメージコンサルタント・カラーコーディネーター 池田 泰美 氏

・1/27（火）阿波観光ホテル

「北海道物産展に学ぶ『売れる』仕掛けはこの人に聞け！」

(株)オフィス内田 代表取締役 内田 勝規 氏

・3/6（金）阿波観光ホテル

「会社・従業員を守る！助成金の上手な活用法」

横浜リンケージ社労士事務所 代表 蔵中 一宏 氏

・3/18（水）阿波観光ホテル

「長所を活かして、個性を伸ばせ！～梨田流『自己と組織の育成法』～」

プロ野球解説者 梨田 昌孝 氏

・3/19（木）阿波観光ホテル

「最先端医療の現状～ここまで進んだガン治療～」

医学ジャーナリスト 日本医学ジャーナリスト協会幹事 松井 宏夫 氏

8. 地域団体・諸活動との連携

・6/22（日）アフラック主催「がん検診啓発セミナーin 徳島」 後援 ふれあい健康館

「もっと、ずっと、キレイに。～キレイのために、知っておきたいがんのあれこれ～」

講師：国際医療福祉大学教授 奥仲哲弥 氏、女優 菊川伶 氏、フリーキャスター 森まどか 氏

・11/8（土）徳島県主催「元気な阿波おんな交流サロン」参加 ときわプラザ

「～女性の豊かな発想で心に響くPR～」、パネルディスカッション、交流会

9. 全法連いちごプロジェクト（家庭使用電力の15%削減運動）の情宣と推進

・H26.6 「夏のいちごプロジェクト」実施依頼

・H26.9 「夏のいちごプロジェクト」実施報告書取りまとめ

・H26.11 「冬のいちごプロジェクト」実施依頼

・H27.3 「冬のいちごプロジェクト」実施報告書取りまとめ

10. 全法連の助成金運営事務委託事業

・H26.4 「平成25年度法人会活動支援事業 実績報告書」報告書精査、取りまとめ

・H26.12 「平成27年度法人会活動支援事業 申請書」報告書精査、取りまとめ

(2) 専任職員1名と役員1名が必要程度携わり、公益社団法人徳島法人会と同事務室の一面において相互に連携しつつ従事している。

(3) 事業実施のための財源は、全法連事務委託費が主なものであるが、これは全法連より適正な助成金運営等のために交付されている。

(1) 当該事業に係る公益目的支出の額	3,637,776 円
(2) 当該事業に係る実施事業収入の額	2,500,000 円
(3) ((1) - (2)) の額	1,137,776 円
(4) 当該事業に係る損益計算書の費用の額	3,637,776 円
(5) 当該事業に係る損益計算書の収益の額	2,500,000 円

(1) 及び (2) に記載した額が計画に記載した額と異なる場合、その内容及び理由

計画作成時点の見込みに比べ、継1における公益目的収入の額が見込み額を下回るとともに、公益目的支出の額も見込み額を下回り、該当事業年度末日の公益目的収支差額が計画における見込み額を下回ったが、計画額との差額は5,585円であり、今後の実施事業の規模を鑑みても実施期間に関しては影響がないと考える。

実施事業（継続事業）の状況等2

番号	資産の 名称	時価評価資産 の算定日の 時価	移行後に取得 した場合の 取得価額	前事業年度 末日の 帳簿価額	該当事業年度 末日の 帳簿価額	使用の状況
b 1	電話加入権			16,744 円	16,744 円	計画記載どおり継続して実施事業に使用。帳簿価額を時価とする。
b 1	敷金			89,700 円	89,700 円	計画記載どおり継続して実施事業に使用。帳簿価額を時価とする。

実施事業（継続事業）の状況等3

事業番号	事業の内容
継 1	法人会が行う税を巡る活動並びに地域企業や社会に資する諸活動及びその支援事業

実施事業収入の額の算定について

損益計算書の科目	(1) 損益計算書の 収益の額	(2) 実施事業収入 の額	(2) の額の算定に当たっての考え方
事業収入 (助成金運営事業収益)	2,000,000 円	2,000,000 円	継 1 についての助成金運営事業収益は、用途が当該事業に特定されているため、実施事業収入とする。
受取補助金等 (受取全法連補助金)	500,000 円	500,000 円	継 1 についての受取全法連補助金は、用途が当該事業に特定されているため、実施事業収入とする。
計	2,500,000 円	2,500,000 円	

公益目的支出の額の算定について

損益計算書の科目	(1) 損益計算書の 費用の額	(2) 公益目的支出 の額	(2) の額の算定に当たっての考え方
その他	3,637,776 円	3,637,776 円	異なる費用科目はないため、(1) (2) は同額である。
計	3,637,776 円	3,637,776 円	

別表A 公益目的支出計画実施期間中の収支の見込みについて

(1) その他の主要な事業について

変更の内容及び公益目的支出計画の実施に対する影響等
該当なし

(2) 資産の取得や処分、借入について

実施内容（計画の変更内容）及び公益目的支出計画の実施に対する影響等
<p>資産の処分あり</p> <p>平成27年度開催予定である「法人会全国大会(徳島大会)」の大会準備費用として使用するため、基本財産 20,000,000 円のうち、2,000,000 円の取り崩しを実施した。当事業はその他事業であり、平成27年度は主として全法連からの補助金により実施されるため、公益目的支出計画の安定的な実施に影響を及ぼすことはないと考えます。</p>

別表B 引当金等の明細

(1) 実施事業に係る引当金

番号	引当金の名称		目的		事業番号
	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
	退職給付引当金				
	2,957,900 円	513,100 円	円	円	3,471,000 円

(2) (1) 以外の引当金のうち、算定日において計上していたもの

番号	引当金の名称		目的		期末残高
	期首残高	当期増加額	当期減少額		
			目的使用	その他	
	円	円	円	円	円

(3) 「その他支出又は保全が義務付けられているもの」としたものの

番号	財産の名称		目的		期末の価額
	期首の価額	当期増加額	当期減少額		
			目的使用	その他	
	円	円	円	円	円